

## ネパール憲法 AI 探訪(13): 州の公用語

ネパール憲法は、国家の公用語に加え、州の公用語についても規定している。

**第7条 公用語(सरकारी कामकाजको भाषा)** (1)ネパールの公用語は、デーヴァナーガリー表記のネパール語とする。

(2)州(प्रदेश)は、ネパール語に加え、州内の多数の人々が話す1つ又はそれ以上の国民言語を州法により州の公用語とすることができる。

(3)言語に関する他の事項は、ネパール政府が言語委員会の勧告に基づき決定する。

### 1. 州公用語と言語委員会

憲法は、国家公用語は「ネパール語」と明記しているのに対し、州公用語の方は各州の選択にゆだねている。表向きは州自治権の尊重ということであろうが、実際には、言語選択という難題の州への押し付けと見られても仕方ないかもしれない。

たとえば、憲法は、各州は州公用語を「1つ又はそれ以上」とすることができるとしているが、これは極めてあいまい。またその選択基準を決めるはずの言語委員会の権限も、憲法 287 条で規定しているが、実際にはこれも明確とは言えない。

そのため、州公用語の選定は当初から各州で混乱し、いまもって決着していないと見ざるをえない。

### (1)言語委員会の設置と答申

「言語委員会(भाषा आयोग)」は、憲法 287 条に基づき 2016 年 9 月 8 日に設置され、翌年から「年次報告書」を提出している。

ところが、委員長(L.D. Awasthi)と政府代表委員(U. Hamal)は決まったものの、言語という日常的にして、しかも微妙な問題のため、州代表委員の選出が3年以上も遅れに遅れ、選出後も議論は混乱し、州公用語候補を決め以下のように答申したのは5年後の 2021 年 9 月 6 日のことであった。

### ▼言語委員会答申の州公用語案

- ①コシ州: マイティリー, リンブー
- ②マデシ州: マイティリー, ボジュプリ, バジカ
- ③バグマティ州: タマン, ネワリ(ネパール・バサ)
- ④ガンダキ州: マガル, グルン, ボジュプリー
- ⑤ルンビニ州: タルー, アワディー
- ⑥カルナリ州: マガル
- ⑦スドゥパシュチム州: ドテリ, タルー

\*「ネパール語」は全州の公用語(記載省略)

## (2)州公用語選定の混乱

州公用語の選定は、マデシ州をはじめ、各州で多かれ少なかれ混乱している。原因はいくつか考えられる。

### ①州公用語選定手続きのあいまいさ

先述のように、憲法7条2項によれば、各州には「1つ又はそれ以上の国民言語を州法により州の公用語とする」権限があるが、そもそも「1つ又はそれ以上」とは、何とも、あいまいこの上ない規定の仕方である。

むろん、州公用語の具体的な選定基準や手続きは、憲法7条3項により「言語委員会の勧告」に基づき政府が決定するのであろうが、その「勧告」はあくまでも勧告であって、法的な拘束力はない。では、州公用語は、結局、どこで決められることになるのか？ どうも、はっきりしない。

### ②選定調査の不十分さ

言語委員会が2021年9月6日の答申作成に使用したのは、2011年国勢調査のデータだが、多くの人が、これは古すぎると批判している。

また、言語委員会は、州代表委員が3年以上決まらないなど、各州の意見を十分には聴取していないという批判も少なくない。とりわけ州内の少数派エスニック諸集団は、州公用語選択手続きにおいて無視されていると不満を募らせている。

### ③州公用語追加の負担

州が公用語追加指定に躊躇する理由の一つとして、その負担の重さが指摘されている。公用語が追加指定されれば、立法・行政・司法・教育など、生活のあらゆる場で、その言語が実際に使用できるようにしなければならない。

しかし、追加候補言語の中には、表記方法や文法などが明確でなく、実際に公用語として使用するには相当の準備が必要な言語も少なくない。そのための社会的・経済的コストをだれが負担するのか？ 本当に、負担できるのか？ これが、実際には、公用語追加指定の最大の障壁かもしれない。

## 2. 州公用語の現状

### (1)WIKI 記事

州公用語が、いまどうなっているか？ 最も手軽で実情に近いように見えるのが、WIKIのまとめ(2023/11/22 現在)。

- ①コシ州：マイティリ、リンブー、バンタワ
- ②マデシ州：マイティリ、ボジュプリ、バジカ
- ③バグマティ州：ネワリ、タマン
- ④ガンダキ州：マガル、グルン
- ⑤ルンビニ州：タルー(ダンガウラ)、アワディー
- ⑥カルナリ州：カス-ジウムリ、マガル

⑦スドゥパシュチム州：ドテリ，タルー（ラナ）

\*「ネパール語」は全州の公用語（記載省略）

## (2)AI 回答

これに対し AI 回答は大混乱。AI は、州公用語問題のように、情報が流動的で錯綜しているときは、トンデモナイ回答を、しかも自信タツプりに示すことが少なくない。下記がその実例。滅茶苦茶，要警戒！

【質問】ネパールの州公用語は何ですか？

【Bard 回答(2023/11/22)】

2023年11月22日現在、ネパールは7つの州に分かれており、各州の公用語は以下のとおりです。

- ①ガンドキ：ネパール語，タルー語，ネワール語
- ②西部：ネパール語，マガール語，ラダク語，クマオン語
- ③中部：ネパール語，マガール語，タルー語，ネワール語，サンスクリット語
- ④東部：ネパール語，タルー語，サンスクリット語
- ⑤中部山岳：ネパール語，チベット語，ネワール語
- ⑥ヒマラヤ：ネパール語，チベット語，サンスクリット語
- ⑦メラ：ネパール語，マガール語，タルー語，ネワール語

【ChatGPT 回答(2023/11/22)】

ネパールは7つの州から成る国であり、それぞれの州で公用語が異なります。以下は各州とその公用語の一覧です：

- ①バグマティ州：ネパール語
- ②ガンダキ州：ネパール語
- ③カルナリ州：ネパール語
- ④コシ州：ネパール語
- ⑤ルンビニ州：ネパール語
- ⑥スドゥルパシュチム州：ネパール語
- ⑦ガンダキ州：ネパール語

【Bing 回答(2023/11/22)】

ネパールの7つの州の公用語は以下の通りです：

- ①シッキム州：ネパール語
- ②パンジャブ州：パンジャブ語
- ③トリプラ州：ベンガル語
- ④西ベンガル州：ベンガル語
- ⑤全土：ヒンディー語

【参照】

\*1 [भाषा आयोग ऐन, २०७४\(Language Commission Act,2017\)](#)

\*2 [सरकारी कामकाजको भाषासम्बन्धी सिफारिसहरू](#), Wednesday, 08 Sep 2021

\*3 [Language Commission recommends province-wise official languages before](#)

[government](#), Onlineradionepl, 2021/09/06/

\*4 [Besides Nepali, each province is recommended to use these as official languages](#), Onlinekhabar, September 6, 2021

\*5 [Languages recommended for official use](#), Himalayan Times, Sep 07, 2021

\*6 [Language Commission recommends province-wise official languages before government](#), English Khabar, September 6, 2021

\*7 [Adoption of official languages recommended for provinces challenging, experts say](#) Kathmandu Post, September 18, 2021

\*8 [Government is likely to determine official language of province 2 without consultations](#), Indigenous Voice, 09 May 2021



सम्माननीय राष्ट्रपतिसमक्ष आयोगका अध्यक्ष डा. लवदेव अवस्थी आयोगको पाँचौँ वार्षिक प्रतिवेदन पेश गर्नुहुँदै

■ [言語委員会「第5次年次報告書」提出](#)

谷川昌幸(C)

[ネパール憲法 AI 探訪\(12\): 国家の公用語](#) 2023/10/19 インド

[憲法改正案, 審議入りか](#) 2017/01/08 議会

[कांग्रेस党の憲法骨格案](#) 2014/10/14 憲法

Written by Tanigawa [編集](#) 2023/11/23 @ 11:28

カテゴリー: [ネパール](#), [社会](#), [言語](#), [情報](#), [憲法](#), [教育](#), [文化](#), [民族](#) Tagged with [ネパール語](#), [公用語](#), [国語](#), [州](#)

---

## ダサインの動物供儀

今年のダサインでも、おびたしい数の動物が、寺院などで供儀された。

## 1. 動物供儀の衝撃

1985年にネパールに初めて行ったとき、見るもの聞くもの食するものなど、その多くが珍しく、感動し、また衝撃を受けた。そうしたものの中で最も強烈な衝撃を受け、いまでもその時の情景をアリアリと思い出すが、寺院での動物供儀。それは、近代社会では非日常的な、まるで存在しないかのごとく遠ざけられ「隠されている」死を、多くの参拝者とともにまじかで目にする衝撃的な体験であった。

## 2. 最高裁の禁止命令

この動物供儀については、1990年代以降のネパールの国際化・情報化の進展につれ、残虐で「非人道的」だという非難が特に西欧から浴びせられるようになり、ついにはネパール最高裁が2015年、動物供儀禁止命令を出すに至った。

しかしながら、最高裁命令は具体性に乏しく、以後、同趣旨の命令が幾度か出されたが、いままって宗教文化に深く根差す動物供儀を実際に禁止してしまうには至っていない。

これをどう見るか？ そもそも動物供儀を、その「非人道性」を理由として、法律をもって政治的に禁止してしまってもよいのか？ 私にははなはだ疑問である。

## 3. 「非人道的」の偽善性

人間は誰であれ、他の動植物の「生命」を犠牲にして、生きている。生命を奪うという点では、厳密に言えば、ベジタリアンもビーガンもみな同じ。そのことを直視し感謝するために、本来、動物供儀は行われているはずだ。

もしそうだとすると、その厳粛な事実から目をそらし、他の生命の死骸を、素知らぬ顔で日々食べて生きていくことこそ、他の生命に対し残酷であり「非人間的」ではないか？

こうした動物供儀に関する諸問題については、すでに幾度か紹介したことがある。参照：[動物供儀](#)

## 4. 動物供儀 AI 解説の危険性

動物供儀についても、AIは最新情報を瞬時に採り入れ、懇切丁寧に解説してくれる。人間は、もはや到底太刀打ちできない。

が、その一方、数量・日時や似た概念の扱いについては、怪しい場合が少なくない。下記は、Bardの回答(2023/10/29 取得)。よくまとまっているが、「牛」や「頭数」については、要注意。

「牛(गाई, Cow)」は、2015年憲法第9(3)条で「国の動物(国獣)」と定められ、故意に殺すと処罰される。かつては死刑、2014年になっても実際に禁錮14年の有罪判決が出されている。改正後の現行2017年刑法では禁錮3年になったが、それでもなお重罪だ。その「牛」を供儀するはずがない。これは「水牛(बछ, buffalo)」の誤り。

また頭数についても、「牛(実際には水牛)」と「ヤギ」または「羊」が逆ではないか。「水牛」は大きくて高価であり、供儀では「ヤギ」や「羊」の方が圧倒的に多いと見るのが自然だ。

【問】ネパールにおいて、2023年のダサインで供儀された動物の数？

【Bard 回答】2023年のネパールにおけるダサインで供儀された動物の数は、約20万頭と推定されて

います。これは、前年の約 15 万頭から増加した数です。ダサインは、ネパールにおける重要な宗教的行事であり、**牛**、ヤギ、羊などの動物が供儀されます。供儀された動物は、その肉を貧しい人々に配ったり、神に捧げたりします。……

2023 年のダサインで供儀された動物の種類は、**牛**が約 15 万頭、ヤギが約 2 万頭、羊が約 3 万頭でした。**牛**は、ダサインで最も多く供儀される動物です。ヤギと羊は、**牛**に比べると供儀される数が少ないですが、それでもダサインで重要な役割を果たしています。……

【参照】動物愛護団体の供儀反対運動



### Stop the Bloodshed: End Animal Sacrifice at the Dashain Festival.



The Dashain Festival – aka **The Festival of Death** – is Nepal's most celebrated yet outright GRUESOME annual "religious" animal sacrifice festival.

Devotees will publicly **slay innocent animals during frenzied massacres** to appease blood-thirsty gods and legends...in exchange for good fortune and fertility.

■ [Animal Recovery Mission](#)

谷川昌幸(C)

[ガディマイ祭: 動物供儀をめぐる論争\(3\)](#)2019/12/30 インド

[ガディマイ祭: 動物供儀をめぐる論争\(1\)](#)2019/12/28 ネパール

[ガディマイ祭: 動物供儀をめぐる論争\(7\)](#)2020/01/03 ネパール

Written by Tanigawa 編集 2023/11/01 @ 11:39

カテゴリ: [インド](#), [ネパール](#), [社会](#), [宗教](#), [情報](#), [文化](#) Tagged with [ダサイン](#), [牛](#), [動物](#), [動物供儀](#), [水牛](#)